

クエスタコン出張記

2018年10月、オーストラリアの国立科学技術センター「クエスタコン」が、「2018サイエンスサーカス・ツアー・ジャパン」として、大阪にもやってきます。クエスタコンの展示やサイエンスショーを見る機会はなかなかありません、とてもわくわくするイベントです！詳しくは、当館内の主担当の長谷川学芸員の記事14～15ページをご覧ください、ぜひ多くの皆様に足を運んでいただければと思います。

さて、今年10周年を迎えている当館のボランティア「科学デモンストレーター」（詳しくは7月号）は、2012年にクエスタコンを訪れ、1期生の吉岡亜紀子さんがサイエンスショーを実演されるなど、クエスタコンとの親交を深めてこられました。そして今年のゴールドデンウィーク、第2次遠征隊として吉岡さんら8人がクエスタコンで活動しました（詳しくは8月号の吉岡さんの記事をお読みください）。短い時間でしたが、私も遠征隊の訪問に合わせてクエスタコンを訪れました。

オーストラリアの首都、キャンベラにあるクエスタコン。シドニーからプロペラ機で小一時間です（写真1）。クエスタコンの中は当館に似た雰囲気ですが（写真2）、周り景色はぜんぜん違います。また展示場の大人料金は\$23（約2000円）！当館は400円なので、こちらもぜんぜん違います。キャンベラは人工的に作られた街と言われますが、計画的に美しく作られた街で、とても居心地よく感じました。



写真1. シドニー空港、キャンベラ行き



写真2. クエスタコンのアトリウム

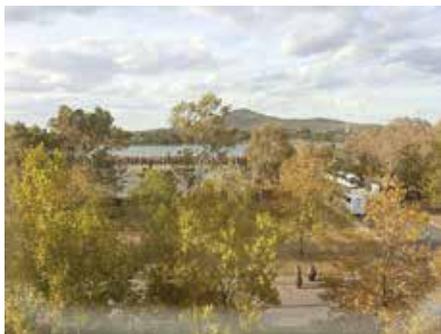


写真3. 打合せした会議室からの眺め



写真4. 幼児エリア
MINI Q- Fun for 0-6 year olds



写真5. テキーラサイエンスショー

クエスタコンにはプラネタリウムはありません（サイエンスショーはあります）。さわって実験・体験ができる展示が多く、でも残念ながら化学の展示コーナーはありません。扉によってセキュリティや安全も考慮されている幼児のためのエリアもありました（写真4）。幼児のワークショップを企画・実践しているスタッフが、私の「幼児のための企画展『にじのせかい』」に興味を持ってくださり、トークした時間も貴重でした。逆に大人向けのワークショップも企画していて、3日目の夜には「テキーラサイエンスショー」が開催され、見学させていただきました（写真5）。午後7時から2時間、18歳未満は入場不可、通常参加費\$48！4000円近い参加費ですが満席で、バーのような空間が作られ、テキーラについての解説や豆知識、関連実験、そしてテキーラの飲み比べ…。クエスタコンが、子どもも大人も楽しめる科学館を目指していることが、とてもよくわかりました。



写真6. サイエンスショーの交換のようす

サイエンスショーやワークショップについては、吉岡さんが詳しく報告してくださっていますが（写真6）、日本でも科学館によってそれぞれのやり方や流儀があります。クエスタコンも大阪とはとても違う雰囲気のサイエンスショーです。でも、サイエンスショーの交換では、クエスタコン流大阪流それぞれの良さや面白さを実感するとともに、ここに集うみなさんの前向きな姿勢に心底、感動しました。

クエスタコンは赤道の向こうにあります。でもクエスタコンのサイエンスショーを日本で見れるチャンスがあります。それがサイエンスサーカス！ぜひお越しください。

岳川 有紀子(科学館学芸員)